

実施主体：全国土地改良事業団体連合会、沖縄県土地改良事業団体連合会

実施時期：令和4年11月中旬(2～3日間)

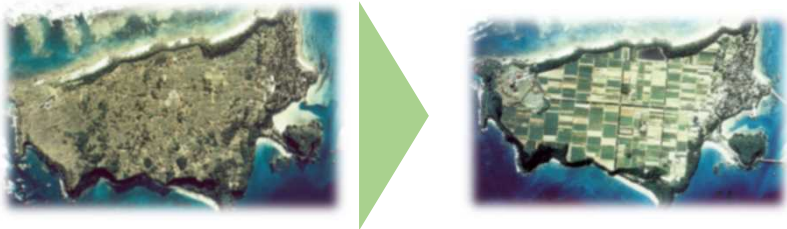
<50周年記念事業のテーマ>

2 事業を通して、復帰から50年間の歴史を振り返り、先人たちの労苦と知恵に学ぶとともに、誇りある豊かさに向けた展望を発信する。

【事業内容等】

復帰50周年の節目に全国の土地改良関係者が一堂に会する機会である本大会を実施し、農業農村整備事業及び本県の農業の復帰後50年間のあゆみを振り返る。具体的には、パネル展示や資料集、現地視察等により本県の農業の発展を広く紹介するとともに、会場周辺に特設コーナーを設け、展示・販売等により各地の特産品のPRを行うことで沖縄県の農業の魅力を全国へ発信する機会とする。

基盤整備



区画整理により手作業から機械化作業へと労働生産性が向上

かんがい整備



井戸から水汲み
水なし農業から水あり農業へ

沖縄の農業

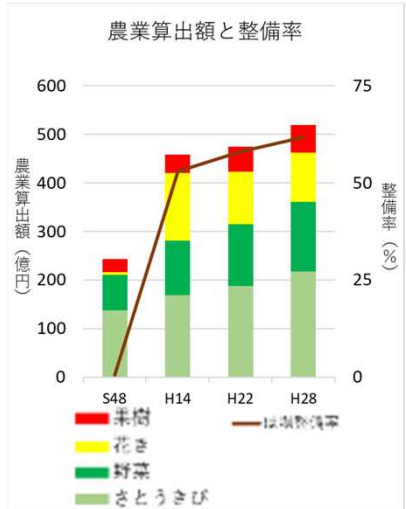
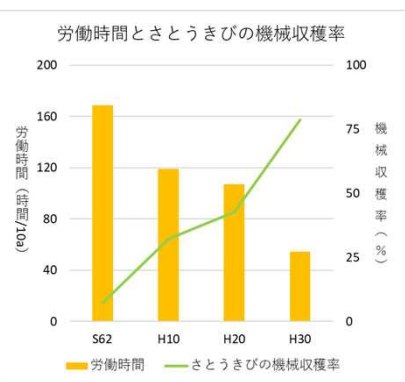


さとうきび手狩り ハウス栽培

復帰50周年の沖縄の農業、自然、歴史等のあゆみを全国へ発信し、魅力ある沖縄県をPR

効果

<農業農村整備の効果>



基盤整備の進展 → 機械収穫率の上昇
労働時間の削減
営農耕地面積拡大
高収益作物転換

→ 農業産出額の上昇